



学校教育目標

岩瀬小だより

よく考える子・助け合える子・たくましい子

学校通信 No. 5

令和4年7月20日

羽生市立岩瀬小学校

TEL 561-0803



「体験したことは身に付く」

～体験を通しての学び～

校長 駒宮 恵美子

「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、やったことはわかる」とよく言

われます。(出典「荀子(じゅんし)」儒効編。一言で言えば、学問は実践の段階にまでいたって終わるのだ
そうです。体験活動の大切さ、また実践できる力を養うことの大切さをよく言い表していると思います。

子供たちにとって毎日が体験活動であり、その中で子供たちは人間として必要なことを学んで成長してい
ます。しかし、学んだことを知識として蓄えることが目的ではありません。今、求められている力は、学ん
だことをもとに、自分で考え、創造し、実践していく力です。実践の段階では試行錯誤を繰り返し、失敗す
ることも多いでしょう。逆に失敗の数だけまた成長していくのかもしれない。体験したことを身に付ける
ために3つの大切なことがあります。

1つ目は、その体験の目当てをしっかりと持つことです。ただ何となくやってみた、こんなことをやらされ
た、では何も身に付きません。

2つ目は、体の全感覚を使って、「なぜだろう、どうしてだろう」と問いかけをもって考えることが大切で
す。自分なりの考えを持ち体験することで、より深く自分の力となります。

3つ目は、様々な体験の中での人との関わりを大切にすることです。一人ではできないことも力を合わせ
ればできることがたくさんあります。力を合わせてできたことは何よりの宝となります。

明日からの夏休み、日頃できないたくさんのことを体験してほしいと思います。



岩瀬小 130周年 航空写真を撮りました。

岩瀬小は10月1日に130歳になります。
記念の年として全校児童で岩まるくんを
校庭に描き、航空写真を撮影しました。

【保護者・地域の皆様へ】

1学期、大変お世話になりました。まだまだコロナについては、
気を抜くことはできませんが、少しずつ、いろいろなことに挑戦
していきたいと思っています。暑い夏となりそうですが、皆様、どうぞ
御自愛くださいませ。

【訂正】

7月号で、2学期の給食は8月31日と掲載しましたが、正しくは9月1日からになります。

【児童の皆さんへ】

- 1 事故や事件に遭わず
- 2 ケガや病気にもならず
- 3 元気に2学期の始業式に会いま
しょう

